

特に注意していただきたいこと

安全に正しく使用していただくために必ずお読みください。

☆ここに示した注意事項と絵表示は機器を正しく安全に使用していただき、お客様や他の人々への危険や、財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

■誤った取り扱いにより生じる危害・損害の程度をつぎの三つに区分しています。

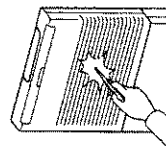
警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性または、火災が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
お願い	警告・注意の項目以外で特にご注意いただきたい内容を示しています。

※この「人」とは、使用者のみでなく、その家族・来客者・隣人を指します。
※危険・警告・注意・お願い表示に於いて、守らなかつた場合に起こりうる損害の文字で表記しています。
(例：感電や焼傷の故障の原因になります。)

■注意事項の絵表示と意味はつぎのとおりです。

	一般的に「注意」		一般的な禁止		分解禁止
	必ず行う		アース必要		

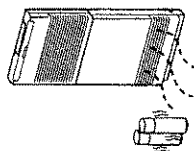
吹出口に指や棒を入れない



ファンが高速回転しているのだけかの原因になります。

スプレー缶厳禁

●スプレー缶を、温度の当たるところに、放置しないでください。
熱でスプレー缶の圧力が上がり漏れし、危険です。



警告

電源プラグは確実に差し込む



●プラグはコンセントに根元まで差し込んでください。また、腐んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

電源プラグのお手入れをする



●ときどき、プラグを抜きほこりなどを拭いた布で拭き取ってください。
プラグにほこりなどがたまるると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。

電源コード・電源プラグを傷めない

●曲げる、ねじる、引っ張るなど無理な力を加えたり、高温部に近づけたり、重い物を乗せたりしないでください。
また、電源プラグを抜くときはコードを持って引き抜かないでください。
※コードやプラグの修理はお買い求めの販売店または、もよりの弊社に連絡してください。

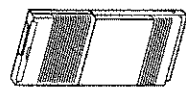


警告

注意

移設・設置

●お客様ご自身での移設・修理・改造・分解はしない。
故障や思わぬ事故の原因になります。
※修理する場合は、お買い求めの販売店または、もよりの弊社に連絡してください。



異常時は使用しない

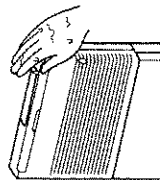
●使用中に異常を感じたときは、運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜く。
異常のまま運転を続けると感電や火災のおそれがあります。
※原因がわからない場合は、お買い求めの販売店または、もよりの弊社に連絡してください。



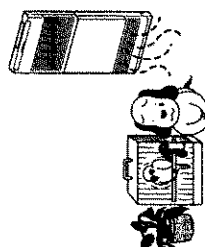
注意

ぬれた手でさわったり、本体に水がかけない

感電や機器の故障の原因になります。



温風や送風を動植物に直接当てない。
動植物に悪影響をあたえます。

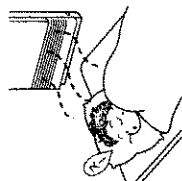


温風に直接長時間あたらない

脱水状態や低温やけどのおそれがあります。

※特に次のような方が使用の場合は周りの人が注意してあげてください。

- 乳幼児・お年寄り・病人など自分の意志で体を動かさない方
- 皮膚の弱い方
- 疲労の強い方、深酒された方



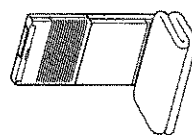
お願い

フィルター掃除

- エアフィルターは週に1回以上必ず掃除してください。
- ほこりなどでフィルターが詰まると温風の流れがさまたげられ、暖房効果が悪くなります。

床面の保護について

- 長期使用している間に、熱による床面の染色・ヒビ割れや、ほこり・たばこの煙などによる変色が発生する場合があります。保護のために熱に強いマットなどを敷くことをおすすめいたします。

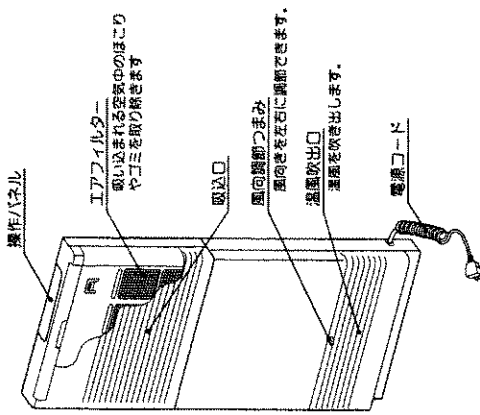


- 温風吹出口をふさがない
- 衣類、紙などで、温風吹出口や温風空気取入口をふさがないでください。
- 温風の流れがさまたげられ、暖房効果が悪くなります。

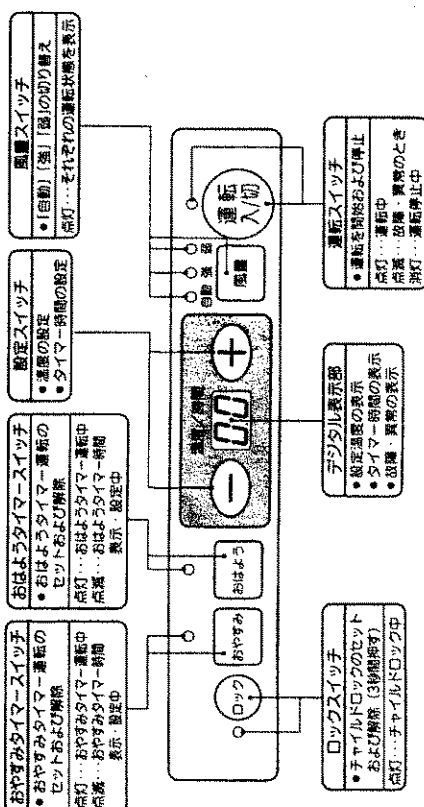


各部のなまえとはたらき

本体



操作パネル



運転のしかた

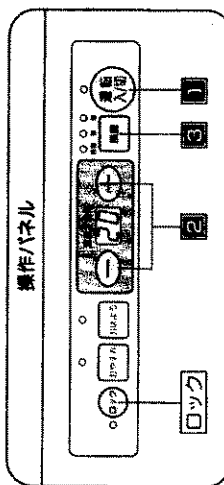
運転前の準備

- 1 本体の電源プラグをコンセントに差し込む。



運転を開始するとき

- 1 ~ 3 の手順で行ってください。



1 運転スイッチを押す



温水の温度が上がると(約2分後)送風が始まります。

- 本体が運転中でも温水温度が一定温度以下になった場合は、一時的に送風が弱くなったり、停止することがあります。

凍結予防について

- 暖房用熱源機とファンコンベクターの電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。気温が低くなると自動的に井が閉き、熱源機のポンプのはたらきによって、水が循環して凍結を予防します。
- 暖房水に専用の不凍液を使用することでも凍結が予防できます。この場合、停電や長期不在時でも安心です。不凍液の注入は、もよりの弊社に依頼してください。

チャイルドロックのしかた

チャイルドロックとは、お子さまのいたずら防止や誤ってスイッチやボタンを押しても作動しないようにするものです。

ロックスイッチを3秒以上押す(「ピッ」と音が鳴るまで)



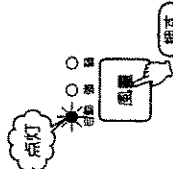
ロック解除

ロック

※ロック中は「運転の停止」のみ操作できます。

運転を停止するとき

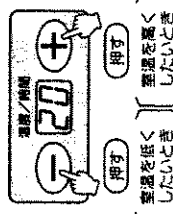
3 風量調節



1回押すごとに「自動」⇒「強」⇒「弱」と設定表示ランプ(点灯)とともに切り替わります。

自動	室温と設定温度の差に応じて風量「強」「弱」「自動」を自動的に切り替えます。
強	室温と設定温度の差に応じて風量「強」「切」を自動的に切り替えます。
弱	室温と設定温度の差に応じて風量「弱」「切」を自動的に切り替えます。

2 室温調節



- 15~30℃の範囲で設定できます。(1℃刻み)
- 設定温度が30℃のときに「+」を押すと「+」表示となり、室内温度に關係なく連続運転します。(但し安全のため室温が35℃以上になると送風を停止します。)

1 運転スイッチを押す



温水の温度が上がると(約2分後)送風が始まります。

- 本体が運転中でも温水温度が一定温度以下になった場合は、一時的に送風が弱くなったり、停止することがあります。

凍結予防について

- 暖房用熱源機とファンコンベクターの電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。気温が低くなると自動的に井が閉き、熱源機のポンプのはたらきによって、水が循環して凍結を予防します。
- 暖房水に専用の不凍液を使用することでも凍結が予防できます。この場合、停電や長期不在時でも安心です。不凍液の注入は、もよりの弊社に依頼してください。

60

点検・お手入れ

点検

点検項目	処 置
電源プラグコンセントのまわりにほこりがたまっていませんか？	電源プラグを抜き、乾いた布でほこりをふき取ってください。
電源コードがいたんでいませんか？	お買い求めの販売店または、もよりの弊社に連絡してください。

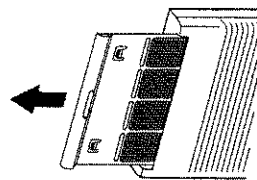
お手入れ

お手入れの前に必ず運転を停止し、本体が冷えた後電源プラグを抜いてから行ってください。

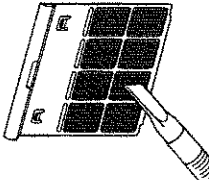
エアフィルター

- ゴミやほこりなどでフィルターが詰まると温風の流れがさがり、暖房効果が悪くなります。通常1週間に1回程度、次の要領で掃除してください。

1 エアフィルターを取り出してください。



2 エアフィルターについているほこりを掃除機で吸い取ってください。



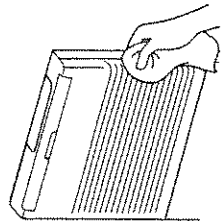
※汚れがひどい場合は水で軽く洗い、日陰でよく乾かしてから取り付けてください。

- タフシのような固いものは使用しないでください。傷の原因になります。
- エアフィルターは火であぶったりして乾かさないでください。変色・変形の原因になります。
- エアフィルターをはずしたまま運転しないでください。機器の故障の原因になります。
- エアフィルターを極端に曲げたり無理な力を加えないでください。破損するおそれがあります。

お手入れ

外装

- 外装の汚れは、やわらかい布でからぶきしてください。汚れのひどいときは、やわらかい布をぬるま湯にひたし、よく絞ってからふいてください。
- ガソリン・シンナー・ベンジン・おがき粉・化学ぞうきんなどはプラスチックをいためますので絶対に使用しないでください。

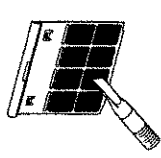


ご使用シーズンが завершиましたら

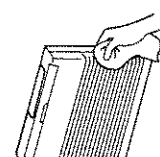
1 電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 電源プラグを抜くと、凍結予防がはたきませんので、冬期は電源プラグをコンセントに差し込んでください。

2 エアフィルターを掃除して元通りに取り付けてください。



3 外装をやわらかい布でからぶきしてください。



故障かな?と思ったら

■故障かな?と思ったらただちに使うのをやめて、まず次のことをお調べください。

こんなとき	お調べいただくこと	処置方法
●運転スイッチを操作しても動かない。 (ランプが点灯しない)	●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていませんか? ●停電していませんか? ●室内ブレーカーがOFFになっていませんか?	●電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。 ●ブレーカーをONにしてください。
●運転が出てこない。	●設定温度が室温よりも低くなっていませんか? ●運転スイッチを入れたばかりではありませんか? ●室温は動いていますか?	●設定温度を上げてください。 ●そのまましばらく待つてください。 室温が上がるまで約2分かかります。 ●熱源機の取扱説明書に従ってチェックしてください。
●暖まりが早くない。	●エアフィルターが目詰まりしていませんか? ●取出口・取出口が障害物でふさがっていませんか?	●エアフィルターを掃除してください。 ●障害物を取りのぞいてください。
●デジタル表示部に「31」「32」のエラー表示が出る。	●運転スイッチを押してエラー表示を解除し、再運転してください。 ●エラー表示を繰り返す場合は修理が必要です。 (エラー31=室温サーミスタ故障) (エラー32=温水サーミスタ故障)	

■次の場合は故障ではありません。

こんなとき	お答えします
●暖房運転開始時や停止後にキシミ音が出る。	●内部の部分などが加熱や冷却される際に金属が膨張・収縮して起こる音です。
●停止中に異音が出る	●気温が低いときに凍結防止機能がはたらき温水配管内の水が循環するために発生する音です。

●以上のことをお調べになっても、なお異常があるときや、わからないときは、お買い求めの販売店または、もよりの弊社に連絡してください。
不完全な処置は事故のもとになりますので、修理は絶対にお客さま自身でなさらないでください。

アフターサービス

サービスのお申し込み

- 11ページの「故障かな?と思ったら」を見て、もう一度確認してください。
- 確認のうえ、それでも不都合な場合があるいは、ご不明な場合はご自分で修理しないでお買い求めの販売店または、もよりの弊社に連絡してください。
- なお、連絡されるときは、下記のことをお知らせください。

1. 品名 ファンコンベクター
2. 型番名 FC1501またはFC2001
3. 故障または不具合の内容
(できるだけ詳しく)
4. ご住所、お名前、電話番号、連絡
(できるだけ詳しく)

保証、補修について

- 保証書に記載されているように機器の故障については、一定期間・一定条件のもとに修理いたします。保証書を紛失されまると、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店または、もよりの弊社に相談してください。
- 修理によって性能が維持できる場合は修理(有料)いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

- 補修用部品の最低保有期間は、当製品の製造打ち切り後10年です。
- その後の修理は補修用性能部品がなく、修理できない場合がありますのでご了承ください。
- 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

仕様

品名	ファンコンベクター(壁掛型)
型式	FC1501
電源	単相AC100V・50/60Hz
標準電圧能力	1.7kW
消費電力	1,500kcal/h
風量	32/35W
送風量	2.4m³/min
送風速度	2.0L/min
送風抵抗	7kPa
送風騒音	0.7mH ₂ O
送風騒音	38dB(A)
配管接続口(入口・出口)	クイックフラスナー接続
外形寸法	高さ890mm×幅385mm×奥行80mm
製品質量	約10kg

- 標準送風能力とは、上記標準送風量(2.0L/min)によって得られる送風時の能力
(入口温水温度一吸込空気温度=60deg)です。
- 室温および85℃以上の温水には使用できません。
- 加温線の取り付けはできません。